

NEDO 懸賞金活用型プログラム／空港グランドハンドリング作業の生産性向上に向けた技術開発(手荷物積付)

NEDO Challenge, Baggage-Loading Robot ～空港の未開拓領域に挑め～

公募要領(懸賞広告) 追補版

追補

2026年4月2日公表の公募要領からの変更点は下表の通りになります。

ページ	内容	変更前	変更後
P9	コンテスト1・2・3のスケジュールの変更	<p>【公募期間】 コンテスト2:2026年6月～2026年10月(予定)</p> <p>【スクリーニング】 コンテスト1・3:2026年6月(予定) コンテスト2:2026年6月～2026年10月(予定)</p> <p>【スクリーニング結果通知】 コンテスト2:2026年10月(予定)</p> <p>【開発期間、メンタリング】 コンテスト2:2026年10月～2026年11月(予定)</p> <p>【受賞者決定、表彰式】 コンテスト1・2:2027年1月(予定)</p> <p>【コンテスト1、2懸賞金受賞者・コンテスト3懸賞金候補者間のマッチング】 コンテスト1・2・3:2027年1月～3月(予定)</p>	<p>【公募期間】 コンテスト2:2026年7月7日～2026年10月19日</p> <p>【スクリーニング】 コンテスト1・3:2026年6月 コンテスト2:2026年7月7日～2026年10月19日</p> <p>【スクリーニング結果通知】 コンテスト2:2026年11月(予定)</p> <p>【開発期間、メンタリング】 コンテスト2:2026年11月～2026年12月(予定)</p> <p>【受賞者決定、表彰式】 コンテスト1・2:2027年1月～2月(予定)</p> <p>【コンテスト1、2懸賞金受賞者・コンテスト3懸賞金候補者間のマッチング】 コンテスト1・2・3:2027年2月～3月(予定)</p>
P10	掲載図中、コンテスト2のスクリーニング期間、開発期間、成果審査・表彰時期を変更	<p>【コンテスト2】 公募説明:6月 スクリーニング期間:6月～10月(約5か月) 開発:10月～11月(約1か月半) 成果審査・表彰:2026年12月～2027年1月</p> <p>【コンテスト1】 成果審査・表彰:2027年1月</p>	<p>【コンテスト2】 公募説明:7月 スクリーニング期間:7月～10月(約4か月) 開発:11月～12月(約1か月) 成果審査・表彰:2026年12月～2027年2月</p> <p>【コンテスト1】 成果審査・表彰:2027年1月～2月</p> <p>※1 図は、本表の下部参照</p>
P14	審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除	<p>【審査時】</p> <p>●スクリーニングの評価上位通過者には、懸賞金候補者として成果審査用アルゴリズムを提出いただき、SIGNATEプラットフォーム上での仮想評価と、佐賀空港(予定)での実地の積込み審査を行います。(審査は事務局側で実施</p>	<p>【審査時】</p> <p>●スクリーニングの評価上位通過者には、懸賞金候補者として成果審査用アルゴリズムを提出いただき、SIGNATEプラットフォーム上での仮想評価を行います。</p>

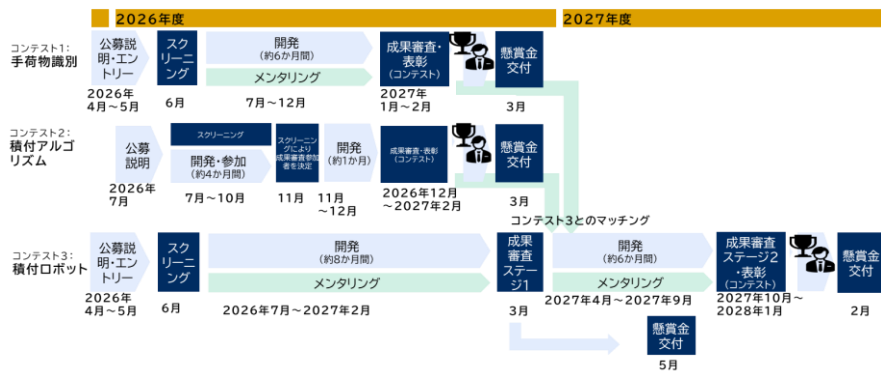
ページ	内容	変更前	変更後
		するため、参加者の方は立会わなくても結構です。)	
P15	掲載箇中、審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除	開発・審査用データの提供の箇中、仮想評価環境の下での評価と並行して、実地審査を実施することをフローに記載 評価委員会への提出物として、参加提案書と記載	実地審査に関連する記述を箇上から削除 提出物名称を提案書(開発成果報告書)に変更 提案書(開発成果報告書)の補足として、下記を追加 ※提案書(開発成果報告書)については、公募要領別紙 2-2(コンテスト2 補足資料)5章参照のこと ※2 図は、本表の下部参照
P17	コンテスト2の懸賞金内容変更	1位:500万円、2位:400万円、3位:300万円、4位:200万円、5位:100万円	1位:500万円、2位:400万円、3位:300万円 なお、審査員特別賞(複数の可能性あり)として、別途上限300万円(総額)を予定(該当なしの場合有り)
P18	コンテスト2の公募期間に関する予告文を削除	※本コンテスト2は予告段階であり、応募要件等は今後発出する懸賞広告において確定します。	(削除)
P18	コンテスト2の公募期間を変更	公募開始:2026年6月上旬頃(予定) 公募締切:2026年10月上旬頃	公募開始:2026年7月7日(火) 公募締切:2026年10月19日(月)
P18	様式の記載内容を変更	様式1 申請書 様式2 利害関係の確認について 様式3-2 提案書(コンテスト2) (本様式は、コンテスト2に係る懸賞広告の発出時に公開します。)	様式1 申請書(※) 様式2 利害関係の確認について(※) 様式3-1 提案書(コンテスト1) 様式3-2 提案書(開発成果報告書)(コンテスト2)(※) 様式3-3 提案書(コンテスト3) ※コンテスト2については、スクリーニング期間中の本様式の提出は必要ありません。スクリーニング通過者決定後、改めてSIGNATEプラットフォーム上で通過者に様式を提示します。
P19	コンテスト2の申請先に関する記載を追加	(3) 申請先 記入済みの様式、..事務局に申請してください。	(3) 申請先 記入済みの様式、..事務局に申請してください。(コンテスト2は除きます。コンテスト2の申請は

ページ	内容	変更前	変更後
			<p><u>SIGNATE</u> プラットフォームでのスクリーニングへの参加をもって申請とみなします。スクリーニングへの参加は、下記の特設サイトに掲載されたリンクからエントリーをお願いします。）</p> <p>特設サイト： https://www.challenge-gh.nedo.go.jp</p>
P20	コンテスト2の公募説明会の開催時期、開催方法、申込期限を変更	<p>※本コンテスト2は予告段階であり、詳細は今後発出する懸賞広告に基づきます。</p> <p>開催日時:2026年6月中旬頃(予定)</p> <p>開催方法:会場での対面参加、またはオンラインからの参加</p> <p>申込期限:2026年6月中旬頃(予定)</p>	<p>開催日時:2026年7月14日(火)17:30~19:30</p> <p>開催方法:<u>オンラインからの参加</u></p> <p>申込期限:2026年7月13日(月)</p>
P22	審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除	<p>※コンテスト2の記載3行目以降評価上位者(10者程度を予定)を懸賞金候補者として選定し、空港実務者による実地審査も含めた成果審査を経て、優勝者を選定します。</p>	<p>評価上位者(10者程度を予定)を懸賞金候補者として選定し、成果審査を経て、優勝者を選定します。</p>
P23	審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除し、提出物等に関する記載を追加	<p>成果審査では、実地審査以外に、提案書の書面審査を予定しています。</p>	<p><u>成果審査に向けた開発期間には、スクリーニングを通過したアルゴリズムをもとに成果審査用アルゴリズム開発を頂くとともに、提案書(開発成果報告書)を作成・提出いただきます。成果審査では、アルゴリズムのプラットフォーム上での審査と提案書の書面審査を予定しています。</u></p>
P23	掲載途中、コンテスト2のコンペティションの流れのうち、スクリーニング・参加者開発期間・参加者作成期間等を修正・審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除	<p>公募告知:2026.6</p> <p>説明会:2026.6</p> <p>グラハン業務に関する情報提供等(予定):2026.6</p> <p>SIGNATEプラットフォーム上でのスクリーニング期間:2026.6~10(5か月)</p> <p>参加者開発期間:2026.6~10(5か月)</p> <p>アルゴリズム作成</p> <p>参加者作成期間:2026.10~</p>	<p>公募告知:2026.7</p> <p>説明会:2026.7</p> <p>グラハン業務に関する情報提供等(予定):2026.7</p> <p>SIGNATEプラットフォーム上でのスクリーニング期間:2026.7~10(4か月)</p> <p>参加者開発期間:2026.7~10(4か月)</p> <p><u>スクリーニング用アルゴリズム作成</u></p>

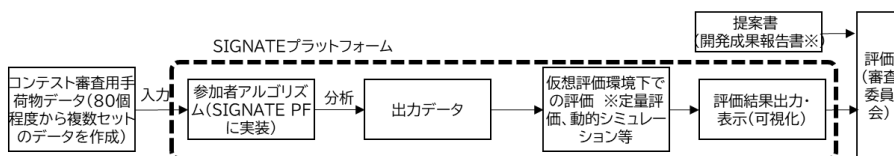
ページ	内容	変更前	変更後
		11(1.5 か月) 評価上位者に～最終通過者を選定:2026.10 参加者作成期間:2026.10～11(1 か月) 成果審査(プラットフォーム上の審査及び実地審査)の実施と入賞者の決定:2026.12～2027.1 コンテスト 3 参加者へのマッチング機会提供:2027.1～	スクリーニング用アルゴリズム開発期間:2026.7～10(4 か月) 評価上位者に～最終通過者を選定:2026.11 成果審査用アルゴリズム等開発・作成期間:2026.11～12(1 か月) 成果審査(プラットフォーム上の審査)の実施と入賞者の決定、表彰:2026.12～2027.2 コンテスト 3 参加者へのマッチング機会提供:2027.2～ ※3 図は、本表の下部参照
P23	参照先資料名を修正	公募要領別紙 2 の 1～4 章	公募要領(別紙 2-2)コンテスト 2 補足資料の 1～4 章
P25	スクリーニングにおける審査基準の記載内容を修正	●ソリューションは、「手荷物積込作業」以外に、幅広い領域・業界に適用が期待されるか	●ソリューションは、「手荷物積付作業」以外に、幅広い領域・業界に適用が期待されるか
P26	プラットフォーム名を記載	●スクリーニングでは、プラットフォーム上で実施し、仮想手荷物データを使い、申請者に公開形式でアルゴリズム開発を進めていただきます。スクリーニングでは、プラットフォームに投稿いただいたアルゴリズムに対して、下記スクリーニング基準に沿って、例えば荷崩れ安定性の評価のための動的シミュレーション等を含めて審査を実施します。	●スクリーニングは、SIGNATE プラットフォーム上で実施し、仮想手荷物データを使い、申請者に公開形式でアルゴリズム開発を進めていただきます。スクリーニングでは、SIGNATE プラットフォームに投稿いただいたアルゴリズムに対して、下記スクリーニング基準に沿って、例えば荷崩れ安定性の評価のための動的シミュレーション等を含めて審査を実施します。
P26	コンテスト 2 の懸賞金候補者の記載について、前段落との重複記載を削除	●公開コンテストのランキング上位アルゴリズムについて、スクリーニングの審査基準に基づく審査を行い、上位 10 者程度を成果審査の対象となる懸賞金候補者とします。	●上位 10 者程度を成果審査の対象となる懸賞金候補者とします。
P26	プラットフォーム名を追記・審査方法変更に伴う実地審査に係る記述を削除	●成果審査では、実物の手荷物データを使い、プラットフォーム上での審査に加えて、提案書類に対する書面審査、アルゴリズムによる積付順・積付位置の結果に従い熟練グラハン作業者が実際に積付作業を行う実地審査(佐賀空港を予定)等を実施し、審査基準に従って、これらの総合点で審査します。実地審査では、公募要領の「6.4 審査委員」に示す審査員	●成果審査では、SIGNATE プラットフォーム上での審査に加えて、提案書類に対する書面審査を実施し、審査基準に従って、これらの総合点で審査します。

ページ	内容	変更前	変更後
		の立ち合いによる審査を行う場合があります。	
P26	コンテスト2の懸賞金の記載内容を変更	●成果審査で、1位から5位を決定し、懸賞金を交付します。	●成果審査で、1位から3位、 <u>審査員特別賞(複数の可能性あり)</u> を決定し、懸賞金を交付します。
P26	スクリーニング調査の具体的な基準①の記載内容を修正	①機能・性能・構成:コンテナ形状・コンテナ数への対応、充填率、荷崩れの防止(重心や振動を考慮した積載)、手荷物種別、優先手荷物等に応じた搭載順の指示、処理スピード等	①機能・性能・構成:コンテナ形状・コンテナ数への対応、充填率、荷崩れの防止(重心や振動を考慮した積載)、手荷物種類、優先手荷物等に応じた搭載順の指示、処理スピード等
P26	成果審査における審査基準の記載内容を修正	●スクリーニングにおける審査基準に加えて、利用環境に応じたプログラムのファインチューニング性や、今後の手荷物積込ロボットでの利用や運輸・製造業など他分野での活用を見据えた応用性等の提案等がなされていること。	●スクリーニングにおける審査基準に加えて、利用環境に応じたプログラムのファインチューニング性や、今後の手荷物積付ロボットでの利用や運輸・製造業など他分野での活用を見据えた応用性等の提案等がなされていること。
P27	成果審査基準の①の記載内容を修正	①機能・性能・構成:必要あるいは目標とする機能が実現できているか(コンテナ形状・コンテナ数への対応、充填率、荷崩れの防止(重心や振動を考慮した積載)、手荷物種別、優先手荷物等に応じた搭載順の指示、処理スピード等)	①機能・性能・構成:必要あるいは目標とする機能が実現できているか(コンテナ形状・コンテナ数への対応、充填率、荷崩れの防止(重心や振動を考慮した積載)、手荷物種類、優先手荷物等に応じた搭載順の指示、処理スピード等)
P27	成果審査基準の④の記載内容を修正	④将来の拡張性:コンテスト3との連携可能性があるか、将来的な性能・機能向上、機能拡張余地が見通せるか(多様な形状モデルへの対応や対象手荷物が追加されていく場合の継続的再計算の提案等)、他分野への技術転用可能性等	④将来の拡張性:コンテスト3との連携可能性があるか、将来的な性能・機能向上、機能拡張余地が見通せるか(<u>多様な手荷物形状モデルへの対応等</u>)、他分野への技術転用可能性等
P28	スクリーニングにおける追加審査基準の記載内容を修正	●ソリューションは、「手荷物積込作業」以外に、グランドハンドリング領域への適用が期待されるか。さらに、幅広い領域・業界に適用が期待されるか	●ソリューションは、「手荷物積付作業」以外に、グランドハンドリング領域への適用が期待されるか。さらに、幅広い領域・業界に適用が期待されるか
P34	問合せ期間をコンテストごとに記載	それ以降のお問い合わせは、2026年4月10日(金)から5月14日(木)の間に限り以下の問合せ先の電子メールで受け付けます。ただし審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。	それ以降のお問い合わせは、 <u>下記の期間に限り</u> 、以下の問合せ先の電子メールで受け付けます。ただし審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。 <u>コンテスト1、コンテスト3:</u>

ページ	内容	変更前	変更後
			2026年4月10日(金)から5月14日(木) (受付は終了しました) コンテスト2: 2026年7月7日(火)から10月16日(金)
P35	様式の記載内容を変更	様式1 申請書 様式2 利害関係の確認について 様式3-2 提案書(コンテスト2) (本様式は、コンテスト2に係る懸賞広告の発出時に公開します。)	様式1 申請書(コンテスト2については、スクリーニング期間中の本様式の提出は必要ありません。スクリーニング通過者決定後、改めてSIGNATEプラットフォーム上で通過者に様式を提示します。) 様式2 利害関係の確認について(同上) 様式3-2 提案書(開発成果報告書)(コンテスト2)(コンテスト2については、スクリーニング期間中の本様式の提出は必要ありません。スクリーニング通過者決定後、改めてSIGNATEプラットフォーム上で通過者に様式を提示します。)

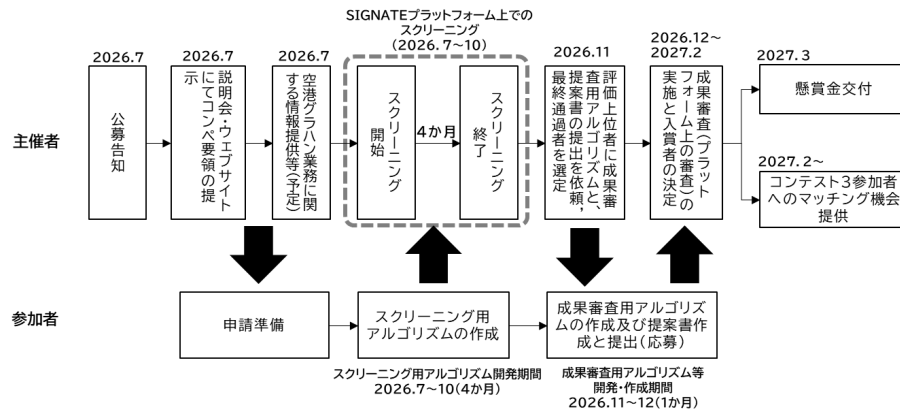


※1:本事業のスケジュール(予定)



※2:開発・審査用データの提供 | コンテスト2:積付アルゴリズム【審査時】

※提案書(開発成果報告書)については、公募要領別紙 2-2(コンテスト2 補足資料)5章参照のこと



※3:コンペティションの流れ | コンテスト2:積付アルゴリズム

上記訂正を反映した、公募要領(本紙)のコンテスト 2 関連部分抜粋版

1. 件名

NEDO 懸賞金活用型プログラム／空港グランドハンドリング作業の生産性向上に向けた技術開発
(手荷物積付)／NEDO Challenge, Baggage-Loading Robot ～空港の未開拓領域に挑め～

2. 背景・目的

コンテスト全体の背景・目的は、公表済の公募要領(本紙)(以下、公募要領本紙)をご確認ください。

3. 技術開発の方向性

コンテストにおけるシステムの全体像やコンテストの実現範囲などは、公募要領本紙をご確認ください

4. 事業内容

4.1 用語説明

本事業で使用する用語の定義の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

4.2 全体スケジュール

本事業では、コンテスト1で開発物①、コンテスト2で開発物②、コンテスト3で開発物①～③を含む
一体的開発物(もしくは性能的にこれを代替できるもの)の開発を行います。次ページのスケジュール
表に示すように、それぞれ2または3段階の審査を行います。

まず、公募により開発案件を募集し、次にスクリーニング(コンテスト1とコンテスト3では書面審査、
コンテスト2ではSIGNATEプラットフォーム※上でのバーチャル審査による)を行い、開発に参加いた
だく案件を選定します。選定された開発案件は、開発期間後に開発成果の審査(成果審査)を行います。
(コンテスト3は成果審査ステージ1と成果審査ステージ2に分けて成果審査を行います。)最終的な
成果審査を経て、応募テーマごとに懸賞金受賞者を決め表彰し、懸賞金を交付します。

※「SIGNATE プラットフォーム」は、株式会社 SIGNATE が運営する国内最大級のコンペティション・プラットフォームです。同プラット
フォームはこれまで経済産業省、防衛装備庁を始め多くのコンペティション実施の実績があります。
(<https://user.competition.signate.jp/ja>)

各コンテストの開発期間中は、事務局による懸賞金候補者へのメンタリング(伴走支援)を通じて、開
発するソリューションの熟度やプレゼンス向上、ソリューションの事業化戦略検討に関するアドバイス等
を実施します。コンテスト1、2の入賞者(懸賞金受賞者)については、コンテスト3(コンテスト1、2の開
発物の活用可能性があります)の参加者(懸賞金候補者)へのマッチング支援を行います。

表彰終了後、懸賞金受賞者による開発案件の成果について、技術解説資料(リーフレット)を作成します。技術解説資料は、本事業の特設サイトやその他の広告媒体等によって広報します。また、懸賞金受賞者の開発案件の成果向上に資する情報提供、アドバイス、マッチング機会の提供等を実施します。

本事業のスケジュール(予定)

今後の予定	コンテスト1	コンテスト2	コンテスト3
公募期間	2026年4月2日 ～2026年5月15日	2026年7月7日 ～2026年10月19日	2026年4月2日 ～2026年5月15日
スクリーニング	2026年6月	2026年7月7日 ～2026年10月19日	2026年6月
スクリーニング結果通知	2026年6月	2026年11月(予定)	2026年6月
開発期間、メンタリング	2026年7月 ～2026年12月(予定)	2026年11月 ～2026年12月(予定)	2026年7月 ～2027年2月(予定)
成果審査ステージ1審査(コンテスト3のみ)	—	—	2027年3月(予定)
成果審査ステージ1懸賞金交付(同)	—	—	2027年5月(予定)
(成果審査ステージ1審査後)開発期間、メンタリング(同)	—	—	2027年4月 ～2027年9月(予定)
成果審査(コンテスト3については成果審査ステージ2審査)	2027年1月(予定)	2026年12月～2027年1月(予定)	2027年10月～12月(予定)
受賞者決定、表彰式	2027年1月～2月(予定)	2027年1月～2月(予定)	2028年1月(予定)
技術解説資料の広報、アドバイス等	2027年2月 ～2027年3月(予定)	2027年2月 ～2027年3月(予定)	2028年2月 ～2028年3月(予定)
懸賞金交付	2027年3月(予定)	2027年3月(予定)	2028年2月(予定)
コンテスト1、2懸賞金受賞者・コンテスト3懸賞金候補者間のマッチング	2027年2月～3月(予定)	2027年2月～3月(予定)	2027年2月～3月(予定)

4.3 募集テーマ

本事業において、3つのテーマを公募します。

なお、コンテスト3で募集する開発提案には、コンテスト1およびコンテスト2の開発内容を含む場合がありますが、各コンテストは独立した公募です。応募者は、コンテスト3のみに参加することも、コンテスト1および／またはコンテスト2に個別にエントリーすることも可能です。

また、「4.6 懸賞金候補者への支援」で記載するように、コンテスト1、2の懸賞金受賞者とコンテスト3の参加者(懸賞金候補者)とのマッチング等も予定しています。

(2)コンテスト2:積付アルゴリズム

【背景】

- グランドハンドリング業務は航空機運航に不可欠な業務であり、生産年齢人口が低下する中でも航空需要の拡大に対応していくためには、先進技術等の開発・実装による生産性向上は不可欠と言えます。民間主導で技術の実装・開発が進んでいるものもある一方、施設制約や技術開発ハードル・コストが大きい等の理由により、新技術導入が進んでいない分野も存在します。そうした分野の一例として、航空旅客手荷物のコンテナへの「積付作業」が挙げられます。
- 特に手荷物の積付作業において、手荷物は形状、重量、硬さ、素材がそれぞれ異なるため、荷崩れを防ぐ積付方法や積付順を計算し、それを適切に指示するアルゴリズム技術が整備されていない状況にありました。そのため、これまでの積付作業は主に熟練者の経験に依存する形となり、自動化に向けた大きな課題となっています。

【募集内容】

- 「手荷物積付作業」の自動化における「積付アルゴリズム」の開発案件を募集します。
- 募集対象は、空港の手荷物識別装置(コンテスト1参照:本課題の開発対象外)でその形状・寸法・素材などを計測・識別された手荷物を、積付ロボット(コンテスト3参照:本課題の開発対象外)を使ってコンテナ内に効率よく安全・安定的に積み付けるためのアルゴリズム開発となります。ハードの開発は含みません。
- (開発いただきたい成果物や、実現してほしい機能、性能等については公募要領別紙2-2の1~4章を参照のこと)

【課題】

- BHS上の一時保管施設(EBSやメイクエリア等)に蓄積された、様々なサイズや形状の手荷物を、指定された大きさのコンテナ1~複数個内に効率よく積載する積付方法を算出するアルゴリズムを開発すること
- 上記において、荷崩れを起こさないような、安全かつ安定した積付方法を開発すること
- 上記において積付や積付エラー発生からの再積付までの限られた時間で積付位置や積付順を

算出すること

4.4 提供する開発環境、及びコンテストに関連したデータ

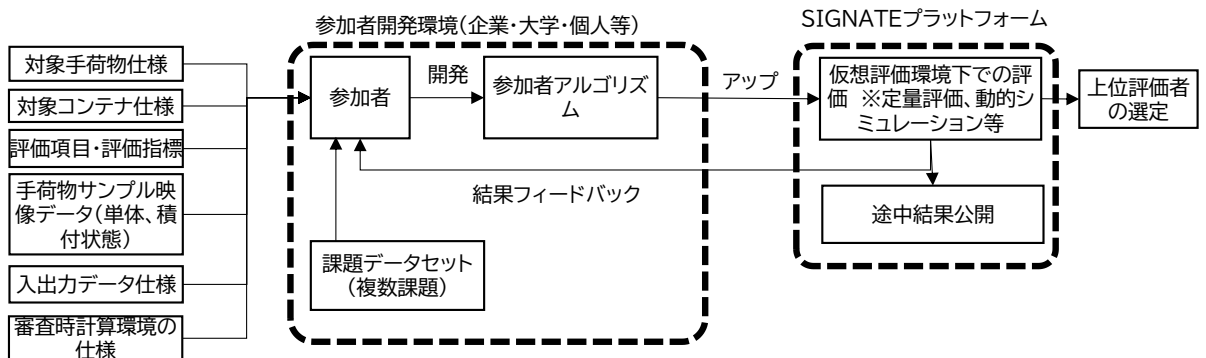
本事業では、申請者に対して以下のデータを提供する予定ですが、利用は必須ではありません。

【スクリーニング時】

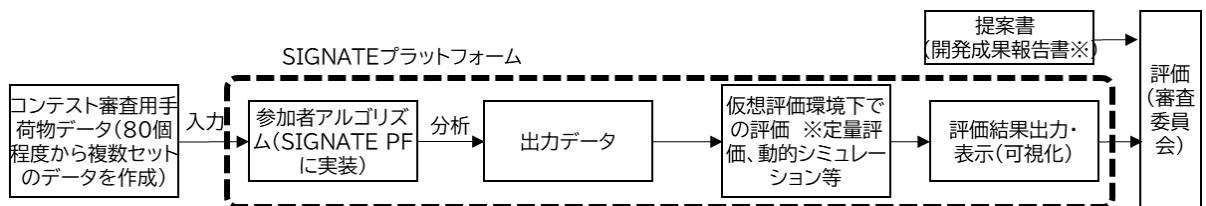
- 開発期間開始時に SIGNATE プラットフォーム(4.2 項の記載参照)上で、対象手荷物仕様、対象コンテナ仕様、評価項目・評価指標、手荷物サンプル映像データ、入出力データ仕様等をデータファイル等の形でスクリーニング参加者に提供し、参加者開発環境下で、審査物の開発を行っていただきます。審査物は開発期間中 SIGNATE プラットフォーム上で課題を提示し、一定期間継続的にスクリーニングを実施します。

【審査時】

- スクリーニングの評価上位通過者には、懸賞金候補者として成果審査用アルゴリズムを提出いただき、SIGNATE プラットフォーム上での仮想評価を行います。



開発・審査用データの提供 | コンテスト2:積付アルゴリズム 【スクリーニング時】



開発・審査用データの提供 | コンテスト2:積付アルゴリズム 【審査時】

※提案書(開発成果報告書)については、公募要領別紙 2-2(コンテスト 2 補足資料)5 章参照のこと

4.5 懸賞金

懸賞金の額は、コンテストごとに次のとおりです。なお、審査委員会の審査により、当該順位の期待水準に達せず該当者なしと判断された場合には、懸賞金は支払われません。

コンテスト 2:積付アルゴリズム(計 1500 万円)
1 位:500 万円、2 位:400 万円、3 位:300 万円 なお、審査員特別賞(複数の可能性あり)として、別途上限 300 万円(総額)を予定(該当なしの場合有り) 懸賞金の分配方法については「7. 表彰および懸賞金の支払い」を参照してください。

4.6 懸賞金候補者への支援

本プログラムにおける懸賞金候補者(スクリーニングの結果、選定された案件の申請者)に対して、共同研究の実現に向けた支援策を実施します。

詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

5. 申請(エントリー)・応募手続

5.1 申請(エントリー)方法

本事業への希望者は、「5.2 申請(エントリー)・応募資格」を満たしていることを確認し、事務局の指定する様式に従って、期限内に指定された方法で応募(エントリー)してください。なお、提出する成果が、公募開始時点で、「国の競争的研究費(内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの)」のみで作製されたものの場合、提出を受け付けません。

(1) 公募期間

公募開始:2026 年 7 月 7 日(火)

公募締切:2026 年 10 月 19 日(月) ※スクリーニング審査の実施中を公募期間とします。

(2) 様式

様式 1 申請書(※)

様式 2 利害関係の確認について(※)

様式 3-2 提案書(開発成果報告書)(コンテスト 2)(※)

※コンテスト 2 については、スクリーニング期間中の本様式の提出は必要ありません。スクリーニング通過者決定後、改めて SIGNATE プラットフォーム上で通過者に様式を提示します。

(3) 申請先

コンテスト 2 の申請は SIGNATE プラットフォームでのスクリーニングへの参加をもって申請とみなします。スクリーニングへの参加は、下記の特設サイトに掲載されたリンクからエントリーをお願いします。

特設サイト：<https://www.challenge-gh.nedo.go.jp/>

5.2 申請(エントリー)・応募資格

応募資格の諸条件は、公募要領本紙をご確認ください。(申請も同様とします。)

5.3 公募説明会の開催

下記のとおり説明会を開催し、当該事業内容及び申請(エントリー)に係る手続きを説明しますので、申請を予定される方は可能な限り出席してください。なお、説明会は日本語で行います。当日参加できない方は後日アーカイブをご視聴ください。

参加希望者は、下記の特設サイトに掲載された申込フォームから申込みをお願いします。

開催日時 : 2026年7月14日(火) 17:30~19:30

開催方法 : オンラインからの参加

申込期限 : 2026年7月13日(月)

特設サイト : <https://www.challenge-gh.nedo.go.jp/>

上記の他、コンテストに関して懸賞金申請者を招集する機会がある場合は、詳細が決定次第ご連絡いたします。

5.4 応募に当たっての注意事項

注意事項を確認の上、応募してください。(申請も同様とします。)

注意事項の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

6. スクリーニング・成果審査方法

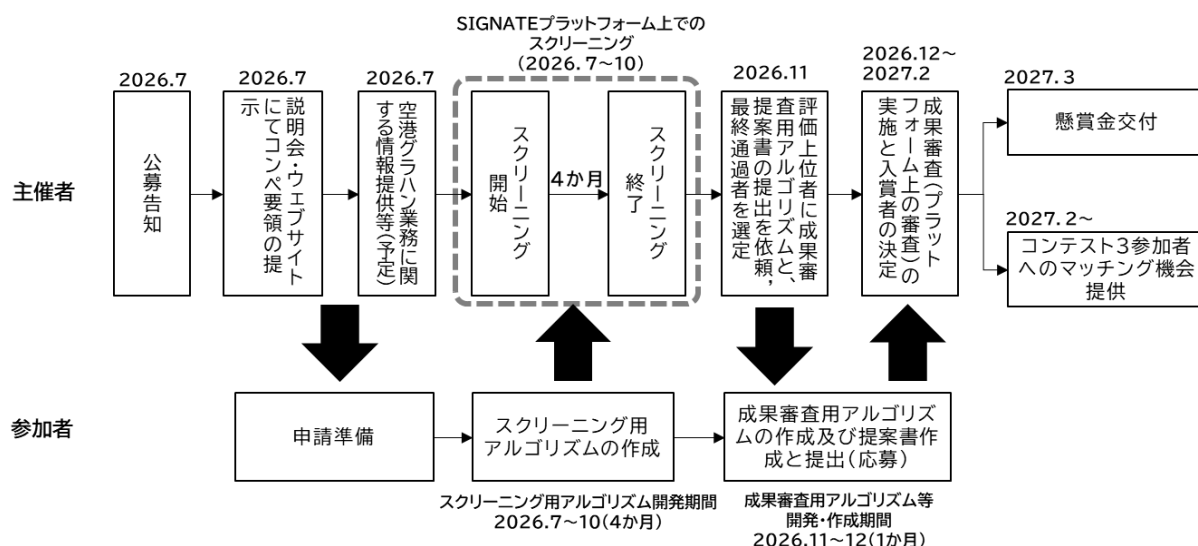
6.1 コンペティションの流れ

民法に基づき、以下の審査を経て決定した受賞者に懸賞金を支払います。

審査は、当該領域の有識者で構成する審査委員会を設置し、コンテスト2はスクリーニングと成果審査の2段階で行います。

コンテスト2では、スクリーニング参加者の作成アルゴリズムを国内最大のアルゴリズムのコンペティション・プラットフォームである「SIGNATE プラットフォーム」上で継続的にスクリーニングを行ったうえで、評価上位者(10者程度を予定)を懸賞金候補者として選定し、成果審査を経て、優勝者を選定します。

成果審査に向けた開発期間には、スクリーニングを通過したアルゴリズムをもとに成果審査用アルゴリズム開発を頂くとともに、提案書(開発成果報告書)を作成・提出頂きます。成果審査では、アルゴリズムのプラットフォーム上での審査と提案書の書面審査を予定しています。



コンペティションの流れ | コンテスト2:積付アルゴリズム

(スクリーニング、成果審査の方法、開発いただきたい審査用開発物については公募要領(別紙 2-2)コンテスト2 補足資料の1~4章、その他の審査用提出物については5章を参照のこと)

6.2 スクリーニング・成果審査基準

- 審査は、当該領域の有識者で構成する審査委員会を設置し、「スクリーニング」と「成果審査」の2段階で実施します。
- スクリーニング・成果審査基準の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

6.3 スクリーニング・成果審査結果の公表および通知

詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

6.4 審査委員

NEDO が交付する懸賞金のコンテストの審査は、当該課題領域の有識者等で構成する懸賞金交付等審査委員会を設置して実施します。

委員の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

7. 表彰および懸賞金の支払い

表彰方法や懸賞金の支払い方法の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

8. 留意事項

コンテスト参加に向けた留意事項の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

9. 問合せ先

本事業の内容及び申請(エントリー)手続きに関する質問等は説明会で受け付けます。それ以降のお問い合わせは、下記の期間に限り、以下の問合せ先の電子メールで受け付けます。ただし審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

コンテスト2：2026年7月7日(火)から10月16日(金)

問合せ先：NEDO Challenge:空港グラハン運営事務局(株式会社三菱総合研究所)

電子メール：knowledge-prize-gh@ml.mri.co.jp

10. 関連資料

関連資料の詳細は、公募要領本紙をご確認ください。

以上